

中央情報専門学校

学校自己評価報告書
(平成26年度)

平成25年3月文部科学省「専修学校における学校評価ガイドライン」

評価項目一覧

1. 学校の教育目標

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

- 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）
- 学校における職業教育の特色は何か
- 社会経済のニーズをふまえた学校の将来構想を抱いているか
- 学校の理念・目的・育成人材像は・特色・将来構想などが学生・保護者に周知されているか
- 各学科の教育目標、育成人材象は学科等に対応する業界のニーズに向けて方向付けられているか

(2) 学校運営

- 目的等に沿った運営方針が策定されているか
- 運営方針に沿った事業計画が策定されているか
- 運営組織や意志決定機能は規則等において明確化されているか、有効に機能しているか
- 人事、給与に関する規定等は整備されているか
- 教務・財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか
- 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか
- 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか
- 情報システム化等による業務の効率化が図られているか

(3) 教育活動

- 教育理念などに沿った教育課程の編成・実施方策などが策定されているか
- 教育理念、育成人材象や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか
- 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか

- キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか
- 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成、見直し等が実施されているか
- 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか
- 授業評価の実施・評価体制はあるか
- 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか
- 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか
- 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか
- 人材育成目標の達成に向け授業を行うことが出来る要件を備えた教員を確保しているか
- 関連分野における業界等との連携に置いて優れた教員（本務・兼務を含む）を確保するなどマネジメントが行われているか
- 関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力の育成など資質向上のための取組が行われているか
- 職員の能力開発のための研修などが行われているか

(4) 学修成果

- 就職率の向上が図られているか
- 資格取得率の向上が図られているか
- 退学率の低減が図られているか
- 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか
- 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか

(5) 学生支援

- 進路・就職に関する支援体制は整備されているか
- 学生相談に関する体制は整備されているか
- 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか
- 学生の健康管理を担う組織体制はあるか
- 課外活動に対する支援体制は整備されているか
- 学生の生活環境への支援は行われているか
- 保護者と適切に連携しているか
- 卒業生への支援体制はあるか
- 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか
- 高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか

(6) 教育環境

- 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか
- 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか
- 防災に対する体制は整備されているか

(7) 学生の受入れ募集

- 学生募集活動は適正に行われているか
- 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか
- 学納金は妥当なものとなっているか

(8) 財務

- 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
- 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか
- 財務について会計監査が適正に行われているか
- 財務情報公開の体制整備はできているか

(9) 法令等の遵守

- 法令、専門学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
- 個人情報に対し、その保護のための対策がとられているか
- 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか
- 自己評価結果を公開しているか

(10) 社会貢献・地域貢献

- 学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか
- 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか
- 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか

(11) 国際交流

- 留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行われているか
- 留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか
- 留学生の学修・生活指導について学内に適切な体制が整備されているか
- 学習成果が国内外で評価される取組を行っているか

「専修学校における学校評価ガイドライン」（文部科学省平成25年3月）に基づき、平成26年度の活動について、平成27年5月に以下のとおり、学校自己評価を実施した。

なお、学科名については、平成27年度から、情報システム学科はIT・Web学科に、Webビジネス学科はビジネスデザイン学科に、それぞれ名称変更されており、本報告書での表記は新学科名で統一した。

1. 学校の教育目標

〈教育理念〉

21世紀の日本と世界で新しいビジネスに挑むクリエイティブな人材を育成する

〈校訓〉

自主・創造・誠実 ～ 学び続ける者だけが成功する ～

自主・・・自分の頭でものを考え、自らの行動に責任を持つ

創造・・・自らの希望と夢を追及し、創造的に生きる

誠実・・・人との約束を守り、誠実に生きる

〈教育方針〉

一人ひとりを大切にし、各人の能力と個性を最大限に伸ばし開花させることを教育の基本とします。

授業は“親切・丁寧・わかりやすく”をモットーとします。

〈教育目標〉

1. 希望者全員が就職または大学・大学院進学ができる
2. 価値あるスキルと資格の取得および人間的成長を図る
3. 楽しく充実した学生生活を送る

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

平成26年度においても、「3つの成長」、すなわち学生の成長（教育の成果）、教職員の成長、学園の成長を持続的に達成していくことを基本とし、時代の変化や社会の要請への対応を図ることを目標とした。特に、学生の質の向上と教育環境の整備を重点目標とした。

（1）社会の要請や時代の変化への対応

- ①「職業実践専門課程」の認定を受けたIT・Web学科は、シラバスの改訂などその学修内容をより明確にした。また、実践的かつ高度な職業教育の実現を図るため、IT企業との連携を深めた。ITプロフェッショナル学科においては大学との提携を構築した。
- ②商業実務分野のビジネスデザイン学科は、ビジネススキルやビジネスマインドを学び、ビジネスを成功に導く実践力があるビジネス人を育成するために、卒業後の進路を見据えた産学連携を進め、カリキュラム等の開発研究に努めた。

（2）教育環境の整備とシラバスの改訂・分かりやすい授業の展開

- ①施設設備面では、地下教室の全面改修、実習室3教室の改修及びパソコン入替等を行い、教育環境の整備を図った。
- ②学科の目標、育成すべき人材像に沿った授業を一層徹底するために、各科目・授業のシラバスを改訂し、計画的な授業の実施に努めた。
- ③授業力や学生指導力の向上を図るため、教職員を外部研修会に積極的に参加させた。また、校内研修会を定期的実施し、教員相互の研修により学生の成長を促すよう努めた。

（3）学生指導の充実

- ①入学直後のオリエンテーション、前期・後期始業の年2回の新座警察署員による防犯・交通安全指導、夏季休業前のプレゼン大会、後期始業日の全校集会等を活用し、時季に応じた校長講話や学生指導を実施した。
- ②日々の指導では、遅刻防止、出席率の向上及び学生との交流を図るため、登校時の立哨指導や校内巡視に努めた。また、一人ひとりの学生を把握し親身になった支援・指導を行うために、クラス担任を中心とした面談を毎月実施する。

（4）進路指導

- ①校内企業説明会を毎月実施し、学生の就職意欲を高め就職活動を支援する。説明会の中では、企業の採用担当者と学生の面接を実施し、採用内定に結びつけていく。また、就職部では、個々の学生の希望や適性、学力や能力等を把握し、本人との面談や指導を通じ、進路目標をより明確かつ具体的にさせ、学生に対してきめ細かい指導を行う。
- ②大学等への進学希望者には、校内進学説明会を年2回実施し、延べ24校の大学担当者を招き、具体的な進学相談を行う。

(5) 学生募集

- ①本校の教育理念・教育方針や各学科の特色を広報し、十分な理解を通じ、定員を確保するだけでなく、学ぶ意欲の高い優秀な学生が入学するように努めた。特に学士の募集を強化し、学生の質の向上に努めた。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

①採点

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

	評価項目	評価
a	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4
b	学校の理念、目的のもとに特色ある職業教育が行われているか	4
c	社会経済のニーズをふまえた学校の将来構想を抱いているか	4
d	学校の理念・目的・育成人材像は・特色・将来構想などが学生・保護者に周知されているか	3
e	各学科の教育目標、育成人材像は学科等に対応する業界のニーズに向けて方向付けられているか	4

②現状

- a. 教育理念、教育の目的及び育成人材像については、学園創設者が創立時から明確に示している。教育理念、教育目的等に基づき、教育活動を通して社会要請に応え、学生の能力・個性を伸長する指導を行っている。また、年度当初の職員会議、日常の朝礼及び長期休業中の教職員研修会を通し、学校の理念等を全教職員に徹底している。
- b. 教育方針にある「親切・丁寧、わかりやすく」を授業モットーとした専門職業教育において、アクティブ・ラーニングを取り入れた学生参加型の授業を行っている。
 - ・工業分野学科においては、基本情報技術者試験の午前試験免除により資格取得を目指すとともに、情報検定試験3級取得を学生に義務付け就職力アップを図っている。
 - ・商業実務分野学科においては、産学連携企業の経営者や特定非営利活動法人及び一般社団法人所属の講師による試行的授業を実施し、職業実践力の向上を図った。
- c. 日本経済のグローバル化及び日本の少子化が進展する中、いち早く留学生の割合を増加させている。また、学園の将来構想として、専門職大学院設置を目指しているが、新たな高等教育機関としての専門職大学（仮称）の制度化の動きを見据え、開設に向けて準備を進めていく。
- d. 学校の理念等については、学校Webサイトや学生募集用の「学校案内」等に明記することを通じ学生・保護者に対して周知を図っている。
- e. 各学科の目標や育成人材像が産業界のニーズに対応し方向付けられていることを分かりやすくするために、平成26年4月、学科名称の変更を埼玉県へ申請し、同年6月、平成27年度からの名称変更を許可された。（情報システム学科はIT・Web学科に、Webビジネス学科はビジネスデザイン学科に名称変更した。）

③課題と改善策

- ・学校の将来構想については、一層、調査研究を進めていく必要がある。
- ・学校の理念等については、Webサイトへの掲載だけではなく、今後、学年集会等を利用

用して直接説明していく。さらに、各学科の目的、目標、育成人材像等についても同様に周知していく。

(2) 学校運営

①採点

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

	評価項目	評価
a	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
b	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
c	運営組織や意思決定機能は規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
d	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
e	人事、給与に関する規定等は整備されているか	4
f	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
g	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
h	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

②現状

- a. 教育理念、人事全般、授業内容、学生指導は明記されており、それらに基づき、管理職による定期的な校務運営会議にて目的、目標に沿った校務運営を進めている。
- b. 事業計画については、運営方針に基づき、毎年関係部署にて計画書を作成し、その進捗状況は月次報告として理事長・校長に毎月提出されている。
- c. 評議員会での意思決定事項は寄附行為において定めている。主要項目については理事会・評議員会にて決定している。通常の業務運営については理事長主導のもと、関係する管理職にて決定している。
- d. 毎年度当初に校務分担を作成している。教務担当、財務担当者等を配置し、上司への報告・連絡・相談、並びに稟議等により適切に意思決定が行われている。
- e. 人事考課制度、給与制度等の規定は整備されている。
- f. 法令遵守という狭義のコンプライアンスのみならず、社会規範遵守についても教職員に徹底を図っていると同時に、学生にも指導を行っている。
- g. 開かれた学校運営を目指し、学校関係者や広く地域の方々に本校の概要や教育活動等を理解していただくために「学校基本情報」や「学校関係者評価報告書」等の情報を学校ホームページにアップしている。また、日々の教育活動や学生の動きなどをフェイスブックとリンクさせ、学校ホームページに掲載している。さらに、台風や鉄道運行の影響等による休校等の連絡は、適宜学校ホームページにアップしている。
- h. 学籍管理、出席管理、成績管理については、クラウド活用のシステムとして、校内で開発し運用されている。システム開発により、学生の出席及び成績管理の実施並びに経費精算

等の業務の効率化を図っている。

③課題と改善策

- ・目標管理による達成度評価を軸とした人事考課制度を確実に定着する必要がある。

(3) 教育活動

①採点

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

	評価項目	評価
a	教育理念などに沿った教育課程の編成・実施方策などが策定されているか	4
b	教育理念、育成人材象や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3
c	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
d	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
e	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成、見直し等が実施されているか	4
f	関連分野における実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか	4
g	授業評価の実施・評価体制はあるか	4
h	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
i	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
j	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
k	人材育成目標の達成に向け授業を行うことが出来る要件を備えた教員を確保しているか	4
l	関連分野における業界等との連携において優れた教員を確保するなどマネジメントが行われているか	4
m	関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力の育成など資質向上のための取組が行われているか	4
n	職員の能力開発のための研修などが行われているか	4

②現状

- 一人ひとりを大切にし、各人の能力と個性を最大限に伸ばし開花させることを常に念頭に置き、教育課程の編成及び実施方策などを策定している。
- カリキュラムは、業界ニーズを踏まえた目指すべき人材育成像に従って、規定の修業年限に対応した学習時間と共に作成されている。ただ各修業年限における到達レベルの明示的な文書化が課題である。
- カリキュラムは、卒業時に習得するべき知識・技術・ヒューマンスキルを基礎から応用まで段階的かつ体系的に構成されている。4年制のITプロフェッショナル学科においては、サイバー大学と提携し、学士取得を可能にした。

- d. 業界ニーズを常に意識し、カリキュラムや教育方法の工夫が毎年、行われている。特に、ビジネスデザイン学科においては、就職を見据えた和食関係企業3社や関係協会2団体と連携を深め、実践的な演習や工場見学などを試行し、カリキュラム開発に取り組んだ。
- e. 教育課程編成委員会に関連分野の企業・団体からの委員を迎え、客観的にカリキュラムを評価・見直しを行い、改善する作業が定期的に行われている。
- f. 職業教育は、業界が必要とするスキルに対して、知識・技術・ヒューマンスキルの各分野に分類され、体系的に位置づけられている。
- g. 毎月すべての専任教員が相互の授業観察を行い授業評価を実施している。この結果は授業改善のために教員間において公開し情報を共有している。また、日々の授業の評価と改善に資するために、学生による授業アンケートを年3回実施している。結果を各教員にフィードバックし、教員自身の評価や気づき・振り返りに役立てた。
- h. 教育課程編成委員会において各委員の率直かつ忌憚ないご指摘を常に受けつつ改良を行っている。
- i. 成績判定会議、進級判定会議、卒業判定会議などの会議が定例的に行われ評価基準も明確である。
- j. 各資格取得に関して、カリキュラム上明確な科目を設定し授業を行っている。また、通常科目に組み込むことが時間割的に困難である科目については、特別授業を通常時間割とは別に適宜実施している。
- k. 本校が目指す実践的職業人育成のためには、実践的技術指導が可能な実務経験豊富な教員の一層の充実が急務である。また、教員に対する高度情報処理技術者試験合格者の割合が極めて少なく、資格取得に関する各教員の努力が求められる。しかしながら各教員の教育に対する意欲は旺盛であり、学生への指導においては充実した教育が行われている。
- l. 産業界から教員を招聘し、言語教育及び開発指導を行っている。実務経験豊富な企業の技術者による授業は、今後の成果をさらに期待するところである。
- m. 各教員に必要と思われる研修などについては、積極的に参加している。また各種展示会などにも関連科目の教員を派遣し情報収集を行っている。さらに教員指導力の向上のため、各種団体主催の教員研修会に積極的に参加している。
- n. 職業教育・キャリア教育財団主催の研修会や全専各、埼専各等の会合に参加させ、新しい知識・技術、業界の動向等を学ばせた。また、各種研修会の内容を伝達し情報共有するための報告や授業改善のための研修会を夏季休業、冬季休業、学年末休業を利用し年3回の校内研修会を実施した。

③課題と改善策

- ・職業人として、業界が望む人材像を正確かつタイムリーに把握し、知識・技術・ヒューマンスキルの各分野における学生の到達すべきレベルを明確にすることが重要である。そのため、各分野における項目別の学習項目を設定し、その目標に向けたカリキュラムの作成を行い改

善を図りたい。

- ・到達目標に向けて、どのような進捗において学生が成長したのかを定量的に把握し、カリキュラムの実効性及び適合性を評価することが必要である。そのため、入学直後、各学年前期・後期に業界が必要とする学習項目の理解度・到達度を客観的に測定する試験を実施し、学生一人ひとりの成長を把握したい。

(4) 学修成果

①採点

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

	評価項目	評価
a	就職率の向上が図られているか	4
b	資格取得率の向上が図られているか	4
c	退学率の低減が図られているか	4
d	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
e	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

②現状

- 就職担当のベテラン教員を配置し、企業へのアプローチを強めている。その成果として校内企業説明会の実施などに留まらず、入学から就職までの一貫したアプローチを視野に入れた新たな形態の企業連携が生まれている。
- 情報系資格の基本情報技術者試験においては、通常授業における座学講座を設置している。また、試験直前に特別授業を実施している。昨年度の成果として2名の合格者（4月試験）を出した。今年度においてはさらなる合格者を輩出すべく指導を行っている。
ビジネス系資格のサービス接遇・秘書検定・ビジネス実務マナー検定などについては、積極的に資格取得を希望する学生に対して特別授業の形式で指導を行っている。
- 26年度における退学者は、各種対策が功を奏し退学者はほとんどなく、低減した。
- 卒業後も母校として訪ねてくる学生や、さまざまな相談に訪れる卒業生が少なくない。またこれらの学生には、大学に進学した学生も含まれている。このことは本校の真の強みに繋がる事柄であると受け止めている。担任制による在学中に学生指導と共に、各担当者による卒業生に関する追跡調査が綿密に行われていることが大きい。
- 卒業後の学生との太いパイプにより、事後に改善すべき点に気付かされることも多い。就職した学生たちの評判などを企業から直接収集し改善すべき事項は直ちに検討し、日々の授業及びクラス運営に反映されている。

③課題と改善策

- ・産業界と連携し、企業の必要とする人材を当校の職業教育を通じて育成するクラスが、本年度より開設された。この取り組みは学生の知識・技術習得及び就職に向けた高い意欲を維持することに極めて有用であると共に、提携先企業に対しても必要な人材の確保に寄与することができる。今後、定期的に提携先企業との教育進捗の打合せを実施し、カリキュラム及び教育内容を充実させて行きたいと考えている。

(5) 学生支援

①採点

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

	評価項目	評価
a	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
b	学生相談に関する体制は整備されているか	4
c	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
d	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
e	課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
f	学生の生活環境への支援は行われているか	4
g	保護者と適切に連携しているか	3
h	卒業生への支援体制はあるか	3
i	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
j	高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

②現状

- 学生の進路については、副校長・就職部長・学生指導担当・クラス担任による進路指導会議を定期的に行い、個人別に進路指導方針を協議している。また、就職の具体的活動（履歴書の書き方など）は授業カリキュラムに組み込んで指導を実施している。
- 学生相談については、学生指導担当を中心に教員同士で連携して取り組んでいる。ほぼ全教員が学生の状況を把握している。
- 日本学生支援機構の奨学金を学生に周知を図っている。当校の年間学費は学則上も78万円と他校比割安な水準にあり、また、分納（原則2回）も認めている。
さらに全学生に大幅な学費減免を行い、学生の経費負担を軽減している。
- 定期健康診断を毎年5月に学校行事として確実に実施し、再検査が必要な学生には再受診を実施している。また、学生指導担当及びクラス担任が連携して健康管理にも対応を行っている。
- 課外活動は埼情協主催ホームページコンテストへの参加や文化祭の実施、東京ディズニーシー見学等の行事を定期的に行っている。
- 学生のアルバイト調査、遅刻・不登校の学生への住所訪問の実施等により、学生の生活が

乱れ学習に影響が出ないように注意をはらっている。

・提携不動産管理会社による学生寮の使用を開始し、学生からの評判も良い。

- g. 不登校などの問題のある学生の保護者とは、その携帯電話を把握して、随時または定期的に連絡を実施しているが、その他の学生の保護者とは接触の機会は少ない。
- h. 卒業生からの希望に応じ、個別に資格取得のためのフォローや再就職の支援、留学生のビザ更新等実施している。
- i. 埼玉県の人材開発事業において医療事務、IT基礎講座等を受託しており、社会人のニーズに応えている。
- j. IT・Web 学科において職業実践専門課程の認定を受けたことに伴い、高校におけるコンピュータ関係のキャリア教育・職業教育の取り組みを行っている。

③課題と改善策

- ・学生相談を行う教員のカウンセリング研修等を実施する。
- ・同窓会組織等卒業生に対するフォローが十分に実施されているとはいえないが、体制を構築していく。

(6) 教育環境

①採点

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

	評価項目	評価
a	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
b	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3
c	防災に対する体制は整備されているか	3

②現状

- a. 平成 26 年度は、実習室の増設、パソコンの入替、内装工事による環境整備等を重点的に実施した。その結果、実習環境の充実は著しい。
- b. インターンシップ制度は、整備されている。今後、実施に向けて評価基準や評価方法、時期など該当企業と調整を進めていく。
- c. 防災担当責任者を配置し、防災に対する準備は行われている。また、教職員による消火訓練も実施している。

③課題と改善策

- ・防災対策は常日頃から意識を高めることと、訓練を行うことが重要であることから、計画的に対策を行っていきたい。

(7) 学生の受入れ募集

①採点

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

	評価項目	評価
a	学生募集活動は適正に行われているか	4
b	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
c	学納金は妥当なものとなっているか	4

②現状

- a. 学生募集活動は学校案内・募集要項等を用い、埼玉県専修学校各種学校協会の申し合わせ事項を守り、入学願書受付期日や個人情報の取り扱い等に留意し、適正に実施している。
- b. 募集対象となる高校・日本語学校訪問において、学校案内や資料を用い本校の教育内容を正確に伝えている。また、ホームページに Facebook をリンクさせ、学校行事、産学連携、就職活動等の動きをきめ細かくアップし、日々の教育活動を志願者、保護者、学校関係者等に発信している。
 - ・平成28年度募集用の学校案内・募集要項は、内容の充実やかりやすさなど一層の工夫をこらした。
- c. 入学金、授業料、施設設備費等の学納金は、他校と比較して低廉である。

③課題と改善策

- ・広報全体の見直しをし、より効果的なツールの開発を検討したい。

(8) 財務

①採点

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

	評価項目	評価
a	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
b	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
c	財務について会計監査が適正に行われているか	4
d	財務情報公開の体制整備はできているか	4

②現状

- a. 1987 年以来学園創立 29 年を迎え、学園の経営基盤の基本である財務基盤は、毎年着実に強化され、安定したものとなっている。
 - ・2011 年 4 月に東京都豊島区に開校した早稲田文理専門学校の学生募集も順調に推移しており、学園の財務基盤の安定に資するものとなっている。
 - ・今後数年以内に理想とする無借金経営を実現することを目指している。

- b. 予算・収支計画は無理のない実現可能な計画を策定している結果、予算と実績の間に大きな差異は発生していない。
- c. 会計監査においては、会計の専門家である税理士に監事としての監査を適正に行ってもらっている。
- d. 常に最新の財務状況をホームページに公開しており、公開の体制は出来ている。

③課題と改善策

特になし

④特記事項

学校法人全体として収支計画を立てているため、情報提供も法人単位となっている。

(9) 法令等の遵守

①採点

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

	評価項目	評価
a	法令、専門学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
b	個人情報に対し、その保護のための対策がとられているか	3
c	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
d	自己評価結果を公開しているか	4

②現状

- a. 寄附行為・経営理念・教育理念等において法令や専門学校等設置基準等の遵守について明記されており、教職員研修会やオリエンテーション実施時に徹底を図っている。
- b. 個人情報保護方針を策定しており、それに基づき各種対策を実施している。その結果、個人情報漏えい事故は発生していない。
 - ・規程及び業務マニュアルは現在整備中である。
 - ・教職員・学生等に対する啓発活動は会議・授業等において実施しているが、実施をした記録・証跡を得るためにも、今後の啓発活動時にはテストやアンケート等を行うことも視野に入れる。
- c. 自己評価にあたっては、学校長を委員長とする「自己点検評価委員会」が中心となり、文部科学省発「専修学校における学校評価ガイドライン」(平成 25 年 3 月)に準拠する形で、毎年定例的に実施している。
 - ・自己点検評価結果は、関係者にフィードバックして問題点の改善に努めている。
- d. 自己点検報告書及び学校関係者評価報告書は、中央情報学園のホームページに掲載することにより公開を図っている。

③課題と改善策

- ・法令遵守という観点から、外国人留学生に対し、日本の法令の理解及び遵守を徹底するために、さらに積極的に啓発していく必要がある。
- ・個人情報保護に関する規程及び実務マニュアルは、今後学校として早急に整備していきたい。

(10) 社会貢献・地域貢献

①採点

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

	評価項目	評価
a	学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
b	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
c	地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	4

②現状

- 新座市主催のパソコン教室等、講師・施設の提供、TOEIC、社会人委託訓練事業等、広く企業・地方公共団体等と連携し、地域社会と関わりを持っている。
- 授業等においてボランティア活動に関する啓蒙活動は行っている。東日本大震災では学生が支援ボランティアとして現地に赴いたり、今春のネパール大地震では募金活動を自発的に行った。それらの活動を学校としても奨励している。
- 新座市主催のパソコン教室や、埼玉県社会人委託訓練事業等を積極的に受託し実施している。

③課題と改善策

- ・ボランティア活動については、学生の活動として、何をどの程度支援できるかを今後検討していきたい。

(11) 国際交流

①採点

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

	評価項目	評価
a	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行われているか	4
b	留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4
c	留学生の学修・生活指導について学内に適切な体制が整備されているか	4
d	学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4

②現状

- a. 外国人留学生の受入れについては、日本語能力・目的意識の高さ及び多国籍化という戦略を立てて行っている。
- b. 受入れにあたり、パスポート、留学ビザ等の入管書類及び卒業証明書、成績表等の出身校書類等をしっかり確認し、入学後も在留期限の確認、住所変更等の把握を適切に行っている。
- c. 留学生の学修・生活指導については、クラス担任と専任の学生指導教師が協力し、継続的な面談や日々の声かけ等で留学生ときめ細かいコミュニケーションをとっている。また、担任会議等において、留学生について情報の共有化を図っている。
- d. 本校の面倒見の良い留学生教育が評価され、平成26年度は8か国からの留学生が入学した。その評判から、平成26年度入学式は埼玉新聞社の取材を受け、埼玉新聞に写真付記事が掲載された。また、学習の成果として、ビジネスデザイン学科の留学生たちが平成27年度入学式のアトラクションとして習得した日本の礼儀作法を和服姿で披露した。これも、埼玉新聞社に取材要請し、写真付の記事となった。

③課題と改善策

- ・学習成果が国内外で評価される取組については、学校ホームページ等を活用し一層の情報発信を図っていきたい。